

## 第2回充電インフラ整備促進に関する検討会

---

PLUGO

株式会社プラグ

---

2023.07

PLUGO,Inc

NMF Takanawa Bld. 7F,2-20-4  
Higashigotanda Shinagawa-Ku  
Tokyo,141-0022,JAPAN  
Url: <http://plugo.co.jp>

## 続けたくなる未来を創る

持続可能な未来。

それは、社会課題を解決するだけで実現するのだろうか。

そこに生きる人々は、どんな表情をしているのか。

かつて夢見た未来に、近づけているのか。

私たちは思います。

**持続可能な未来とは、持続したくなる未来のことなのだ。**

まず心が動き、行動が広がり、人と社会が心地よくつながって、

やがて、ずっと続いてほしいと願う日々が生まれる。

一人ひとりの想いからはじまる。そんな未来を創りたい。

生まれた想いに続きを。前へ進む喜びを。

人々の心に寄り添い、新たな体験をつむぎ、

感情を未来へつないでいく。

私たちPLUGOは、続けたくなる未来を創ります。

心が加速する未来へ

PLUGO



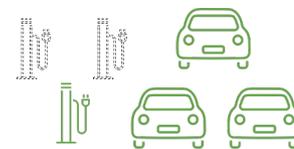
## PLUGO が解決したい社会問題

1

### 充電器が足りない + 適材適所で設置されていない

自宅で充電ができない「充電難民」は40%超

EVユーザが実際に必要な場所に設置が進んでいない



2

### 景観に溶け込まない、使いにくい充電器が多い

EVユーザのあたりまえな便利が社会実装されていない（予約など）

さらに、景観ノイズを生む充電器が乱立している



3

### 設置施設/地域にとって充電整備の設置動機がない

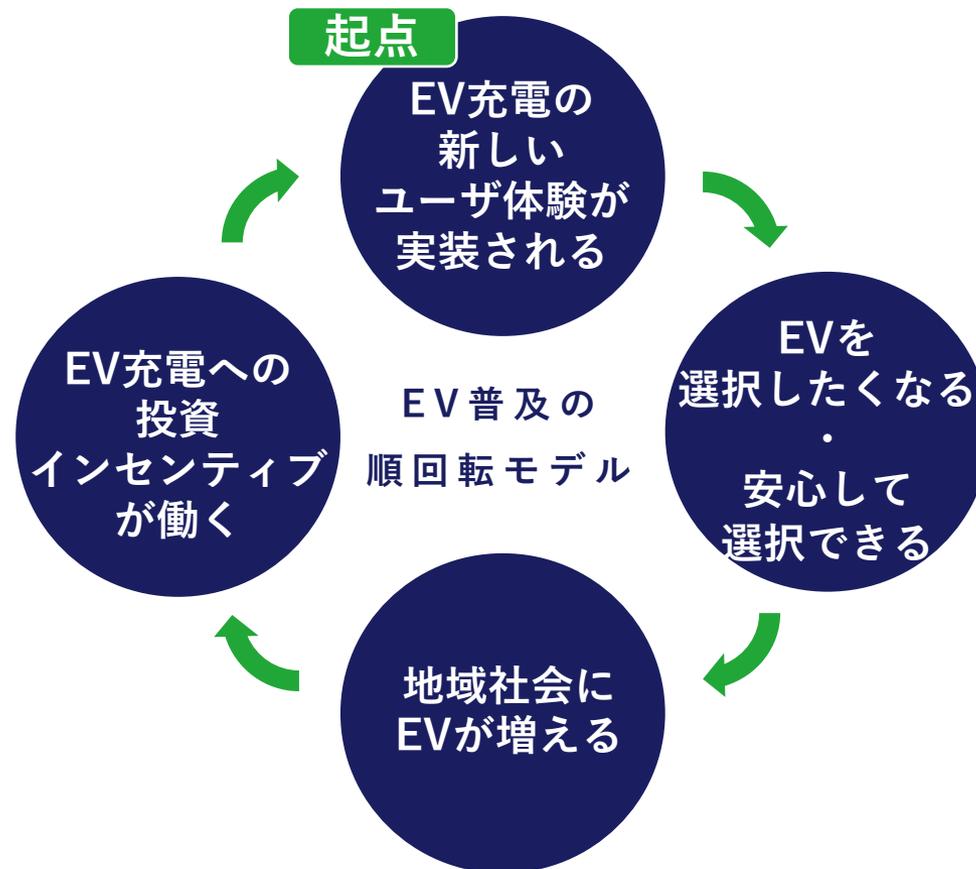
EV所有者と設置施設をつなぐ仕組み・サービスがなく、

補助金以外の充電インフラ整備のメリットがない



## 充電インフラ整備に向けた基本方針

充電インフラが先か、EV普及が先か、のニワトリ卵問題は、  
新しい充電体験実装を起点にした「EVを選択したくなる」好循環で解決



## 将来の充電インフラ整備に向けた設置目標

## P L U G O の事業目標

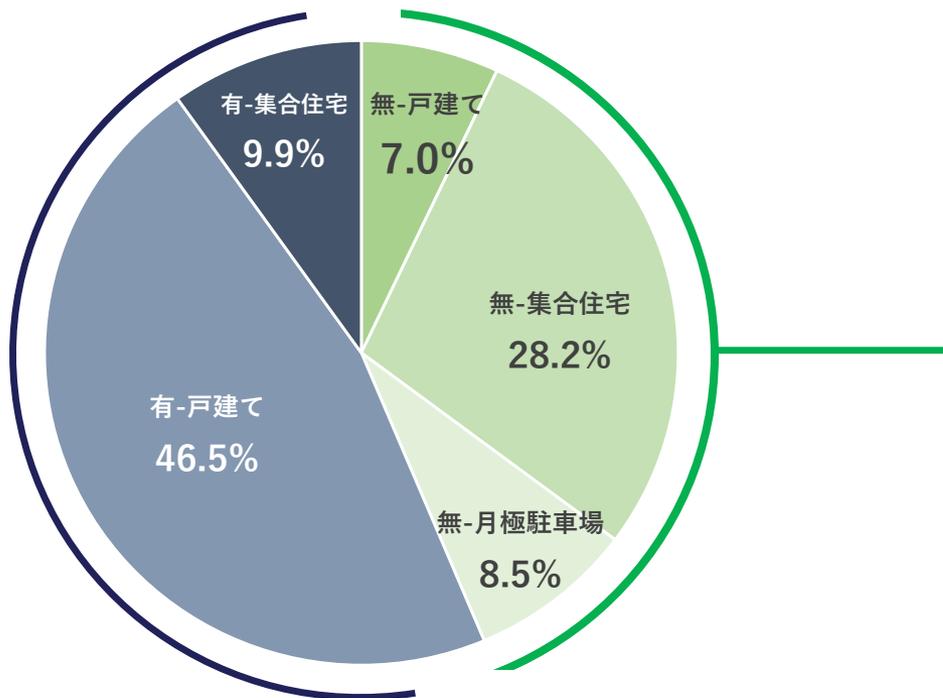
量

質

充電器  
設置台数ユーザ満足度&  
設置施設満足度10,000台  
(2025末)No.1  
=充電器稼働率

充電インフラ整備に向けた課題

実は、4割以上のEVユーザは自宅で充電できていない。



充電難民

43.7%

パターン1

個人宅での設置ハードル

充電器設置 工事費用  
+ 電気基本契約(+30A)  
+ 電気料金

パターン2

集合住宅/月極駐車場

充電器設置を自分では  
決めることができない

パターン3

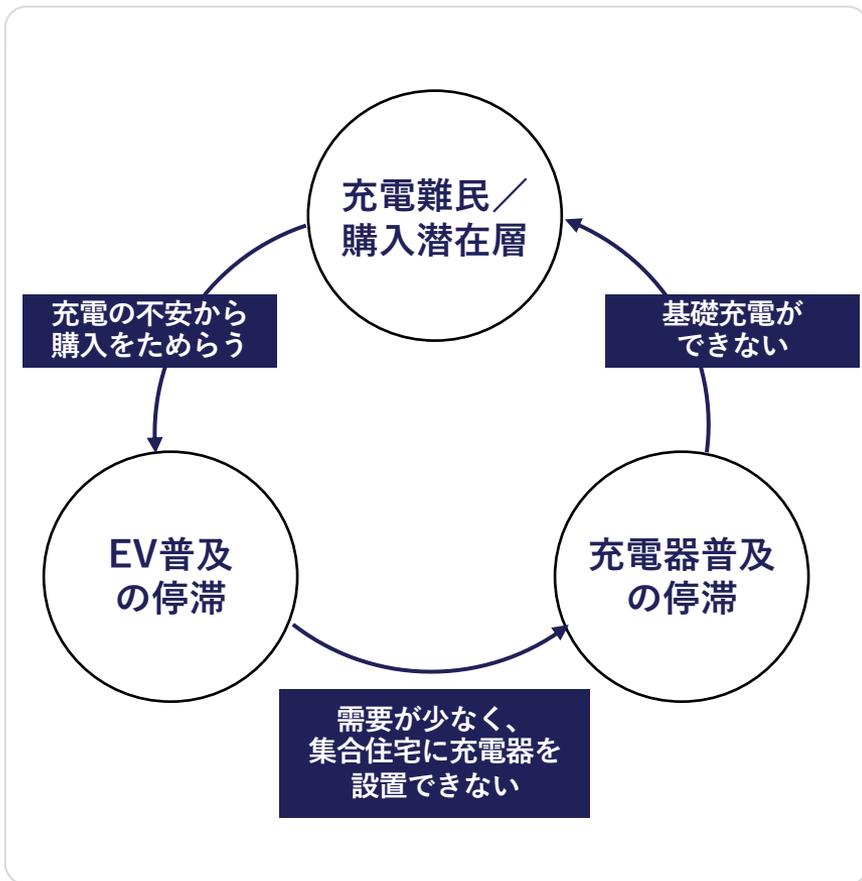
集合住宅 充電器少数

充電器設置済みだが  
台数が少なく  
十分に利用ができない

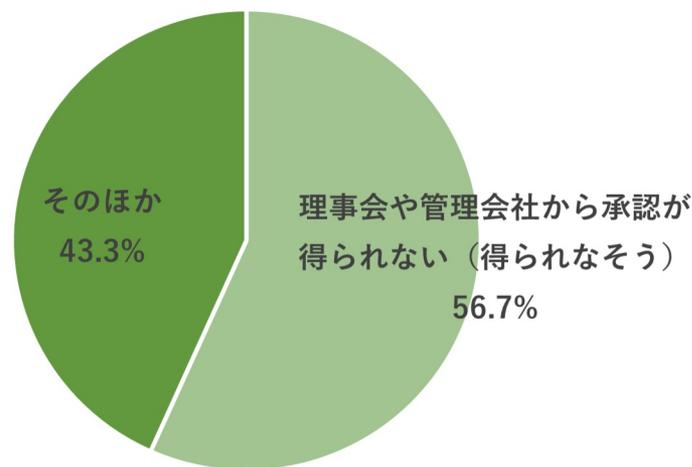
調査時期:2022年8月13日~24日  
n=447(東京都 n=71)  
WEBアンケート(EV Smart 共同調査)

充電インフラ整備に向けた課題

都市部などに多い集合住宅でのEV充電器設置のハードルが高い



理事会や管理会社からの承認のハードルにより、  
集合住宅でのEV充電器設置率は  
わずか**0.058%**



※2022年6月発表国土交通省マンションストック戸数 = 685.9万戸  
 ※富士経済「EV/PHEV充電・日本市場の最新動向と将来展望 2022」マンション充電器数推計 = 4,000

## 充電インフラ整備に向けた課題

現在定義されている充電利用シーン（基礎・経路・目的地）から  
取り残されてしまう層（＝充電難民）が相当数存在



## 自宅での基礎充電

戸建自宅や事務所など  
で行う日常充電。



## 経路充電

目的地までの移動途中  
に行う継ぎ足し充電。



## 目的地充電

滞在先となる目的地  
における充電。



日常的な基礎充電の  
選択肢が少ない・・・

充電難民

43.7%

調査時期:2022年8月13日～24日  
n=447(東京都 n=71)  
WEBアンケート(EV Smart 共同調査)

## 充電インフラ整備に向けた取り組み方針

「自宅外での基礎充電 = 基礎充電代替」の充実により、  
充電難民を解消、誰も取り残さないEVインフラを実現する。



自宅での基礎充電

56.3%

戸建自宅や事務所などで行う日常充電。



自宅外での基礎充電

43.7%

マンションなどで自宅で充電ができない人のための日常充電。



経路充電

目的地までの移動途中に行う継ぎ足し充電。



目的地充電

滞在先となる目的地における充電。

調査時期:2022年8月13日～24日  
n=447(東京都 n=71)  
WEBアンケート(EV Smart 共同調査)

## 充電インフラ整備に向けた取り組み方針

基礎充電に頼るのではなく、生活動線の中にある  
充電スポットを活用することがEVユーザーの中で一般化している。



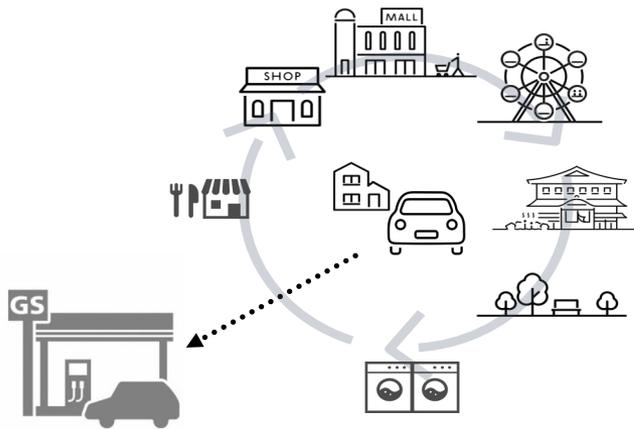
充電の課題を「自宅（集合住宅）の問題」として捉えるのではなく、  
生活ルーティンに充電を組み込むことがポイントになる。



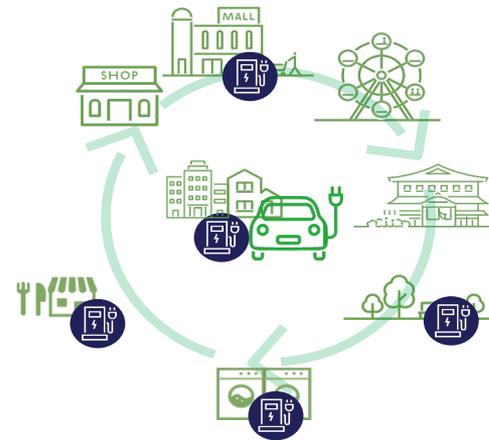
「自宅で充電できない人／したくない人」の受け皿として  
サードプレイスでの充電を推進・発展させていくことが、  
充電難民問題の解決につながる。

## 充電インフラ整備に向けた取り組み方針

生活ルーティンの中に「マイ充電ステーション」を確保しておくことで  
充電難民問題・基礎充電の解決、EVの保有を可能に。

ガソリン車の日常

給油のために、生活動線とは異なる場所へ  
行かなければいけない

EV普及後の日常

生活動線の充電スポットを自分用に確保  
= マイ充電ステーション

## 取り組み方針：マイ充電ステーション化の条件

ただし、無計画に充電器を点在させてもマイ充電ステーションとして機能しない。  
設置計画・機能がセットとなった「充電サービス」であることが重要。

### 〈マイ充電ステーションに求められる条件〉

#### ①生活ルーティンを 考慮した設置計画

単に空きスペースに点として設置するのではなく、EVユーザの生活ルーティンを踏まえた“サードプレイス”での設置計画が重要。

#### ②充電を確約できる 検索・予約機能

マイプレイスを訪れても、他のEVが充電していると利用できない。そのため、事前に充電スポットを検索・充電予約できる機能がセットが必要。

EVライフスタイルを後押しする「充電サービス」を生み出し、  
新しいユーザ体験を発明・社会実装していくことが、  
マイ充電ステーションおよびEVの普及を後押しする近道になる。

# マイ充電ステーションの展開事例 (施設滞在時間などに応じて普通・急速充電器を最適配置)

## 設置戦略 1

### 【都市型商業施設】

充電難民の受け皿となる  
“マイ充電ステーション”



## 設置戦略 2

### 【地方自治体/地域】

主要観光地エリアでの  
“グリーンロード”の整備



## 設置戦略 3

### 【目的地施設】

特定目的地施設における  
ホスピタリティチャージング®



心が加速する未来へ

P L U G O